

■公園整備の基本方針

1. 鎮魂・祈りの場、災害を伝え続ける場づくり

- ・ 災害を記録にとどめ、犠牲者に思いを馳せ追悼する場をつくります。また、防災教育にも役立てるようにします。
- ・ 被災された方の気持ちを大切に施設配置とします。

2. 大島らしい景観づくり

- ・ メモリアル公園にふさわしい落ち着きを感じさせる景観をつくります。
- ・ 大島らしい景観づくりのため、要所にはツバキやオオシマザクラ等の植物や特徴ある火山岩などを用います。

3. みんなが集い、憩える場づくり

- ・ 世代を問わず、多くの町民や観光客が集い、憩える広場や施設を整備します。

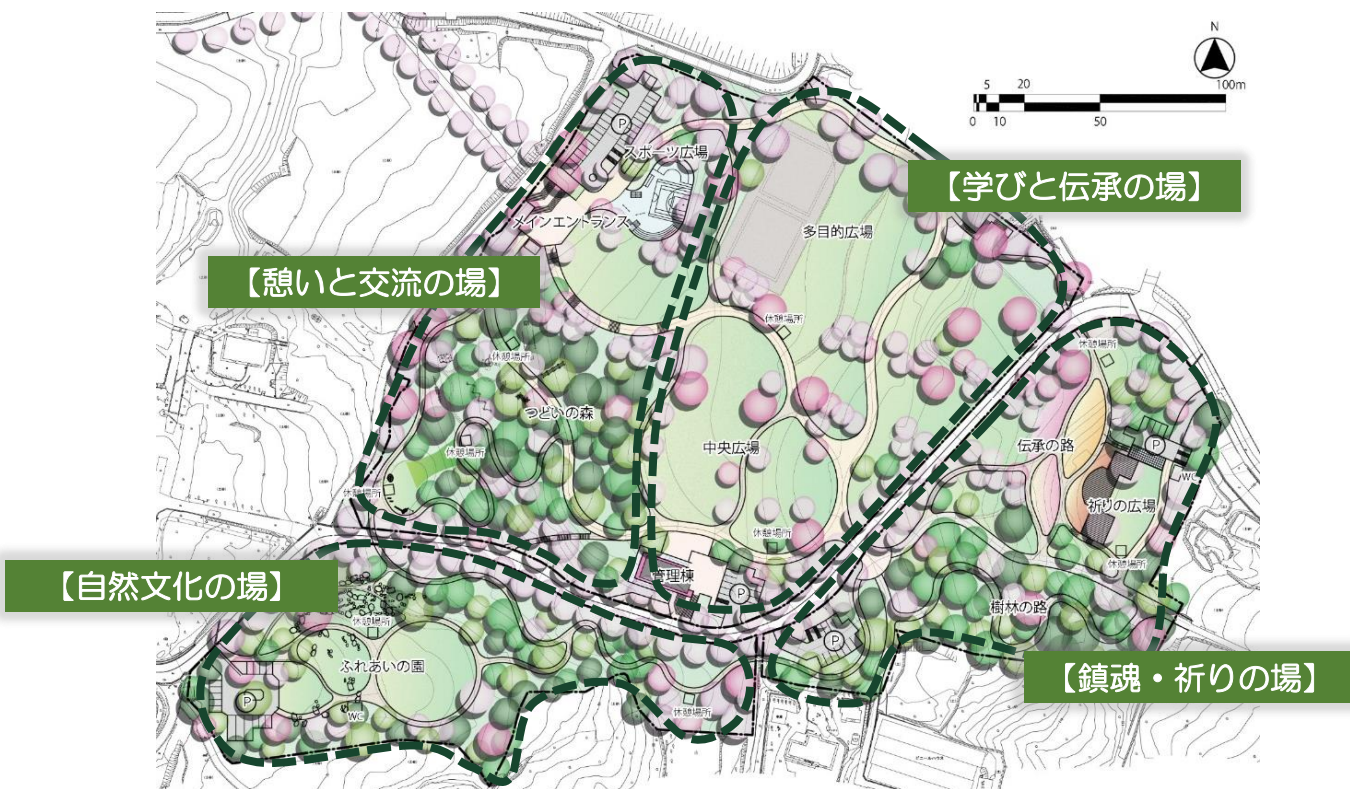
■公園の基本的な考え方

【憩いと交流の場】

憩いと交流の場は、町民が公園に気軽に集まったり、楽しんだりできる場所とし、災害のことをいつまでも忘れずに伝えていくきっかけづくりを行う場所とします。

【学びと伝承の場】

学びと伝承の場は、家屋跡地などに配慮し、被災前の土地の記憶を継承することで災害の記憶を伝える場とするとともに、導流堤や大金沢本川堆積工などの防災施設を学ぶことができる場所とします。



【自然文化の場】

【自然文化の場】

自然文化の場は、大島特有の火山岩や植物などを使用し、大島らしい空間づくりを行い、土地の自然や文化にふれあうことができる場所とします。

【鎮魂・祈りの場】

【鎮魂・祈りの場】

鎮魂・祈りの場は、公園全体を見渡すことができ、眺望にすぐれた場所であることから、犠牲者を追悼し、思いをはせる場所とします。

※各ゾーンには、休憩場所（あすまや）、トイレ、駐車場などを設置します。

大島町元町地区

復興まちづくりニュースレター

vol 8

（2016年6月発行）

大島町メモリアル公園基本設計報告会を行いました

平成28年5月10日（火）に、大島町メモリアル公園基本設計の内容報告と今後の実施設計に向けた公園整備の基本方針を確認するための報告会を行いました。

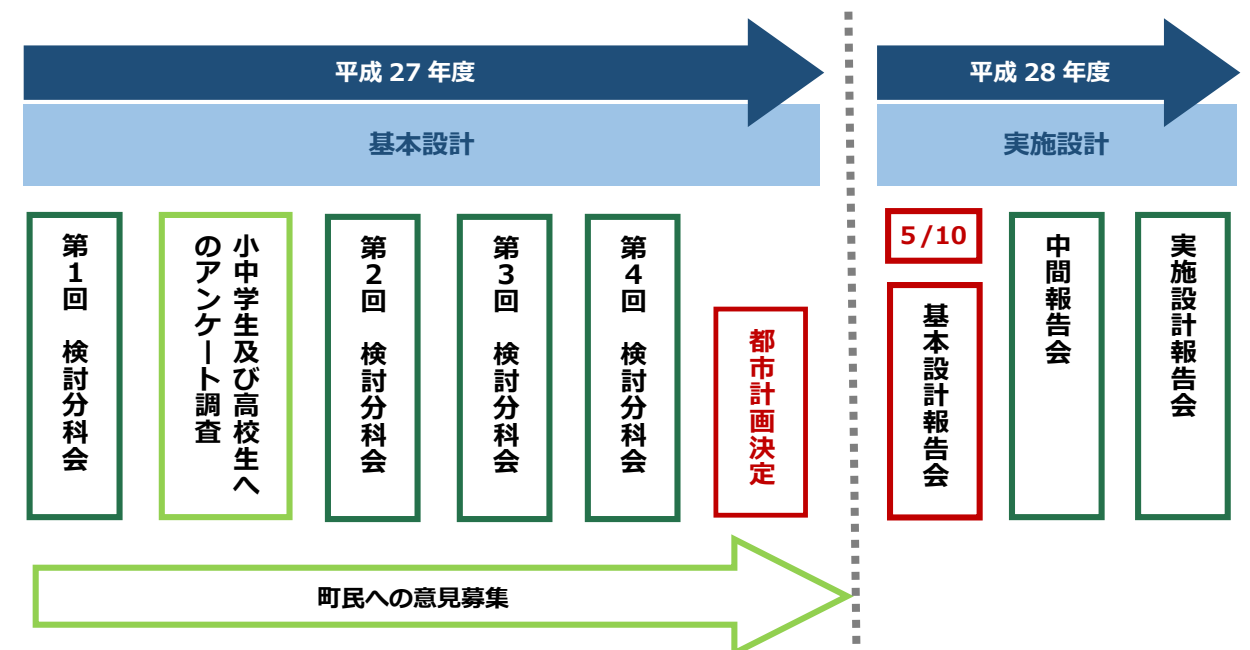
報告会では、幅広い年齢層の方々の参加のもと、公園を構成する4つの基本機能や公園へ設置する施設等、基本設計の概要について説明しました。



■これまでの経緯と今後の予定

実施設計では基本設計に基づき、施設や園路等の安全性、機能性、市場性、施工性、デザイン性といった面からの詳細な検討を行い、工事に必要な設計図等の作成を行います。詳細な検討内容については、実施設計の中間と最後に報告会を開催する予定です。

また、平成29年度から平成32年度を工事の期間として予定しており、平成33年度の開園を目指します。



●大島町メモリアル公園についてのお問合せ先

公園に関するご質問などがありましたら、下記までお問合せ下さい。

大島町土砂災害復興推進室 復興整備係（佐藤・山田）
電話：2-1470 ファックス：2-1555 メールアドレス：fukkou@town.oshima.tokyo.jp

■基本設計鳥瞰図

基本設計平面図をもとに作成した公園のイメージ図です。

